

### 第3章 山陰本線（園部～胡麻）

2019年6月29日（土）から2泊3日の旅のプランは次の通り。当初天気予報は雨マークであったが、天や神のご加護を得て、当初予定したスケジュールを100%クリアでき嬉しい限り。特に、大学同窓7名と初体験した”保津川下り”は最高の気分にかけてくれた。また、福知山から柏原（かいばら）までの福知山線の歩きは、6月初旬歩いた敦賀から福井までの風景をダブらせながら、日本の山並みに続く素晴らしい田園風景を堪能することができた。春日の局の故郷黒井は印象に残るものがあった。



JTBの鉄道旅地図（ぬりつぶしノート）より

これで営業通算キロは1万222km（活動日数504日）となる。偶然にも”**かしはら数理計算事務所**”の開業日（7月1日）に併せて、縁起のいい、面白い数値（ニコニコニコ）で終え、嬉しい限り。

## 第1節 旅プラン

○2019年6月29日(土) 曇り/晴れ

ひかり 503号 新横浜 7時52分 → 京都 10時11分

京都 10時27分 → 嵯峨嵐山 10時44分 (花のいえに荷物預入)

嵯峨嵐山 11時20分 → 亀岡 11時28分

保津川下り 13時~15時



保津川下りガイドより

花のいえで18時半より立命館大学数物同窓会 (昭和48年卒) 開催

花のいえ (公立学校共済組合嵐山保養所) 泊 075 - 861 - 1545



○6月30日（日） 雨/晴れ

9時、数物同窓会解散

嵯峨嵐山 9時39分 → 園部 10時16分

園部～船岡～日吉～鍼灸大学前～胡麻（営業キロ 12.9 km）

胡麻 16時10分 → 福知山 17時5分

福知山アークホテル泊 0773 - 24 - 3333



○7月1日（月）曇り/晴れ → 福知山線のため記載割愛

福知山～丹波竹田～市島～黒井～石生（いそう）～柏原（かいばら）（26.5 km）

こうのとり 20号 柏原 16時6分 → 新大阪 17時27分

ひかり 532号 新大阪 18時16分 → 新横浜 20時52分

## 第2節 1日目：2019年6月29日（土）：数物同窓会 曇り/晴れ



JR 嵯峨嵐山駅

JR 亀岡駅

2019年6月29日（土）、第7回立命館数物同窓会（昭和48年卒）が京都嵐山の「花のいえ」で9名参加の下、開催される。平成20年6月の皮切以来、2年毎に運営し、今回は7回目となった。当初は20名近い参加者がいたが、体調などの理由で半減となり、幹事としては寂しい限り。でも「何とか10回までは続けよう」と確認し合う。



保津川下り乗船場



乗船前      ゴムボート      激しい運動の船頭さん



トロッコ列車      羽を広げる鵜



船頭さんに記念写真を撮って

懇親会の前に、これまで希望者で、衣笠・琵琶湖・二条キャンパスの他、清水寺や嵐山散策をイベントとして開催してきた。今回は”保津川下り”をイベントに取り上げた。7名が JR 亀岡駅改札口前に集合。数日前の天気予報が雨マークであったので、保津川下りのプランが実現するか否か心配したが、天や神のご加護を得て実現でき感謝感激。お蔭様でいい体験をさせて頂いた。3人の船頭が持ち場を交代（前部2名、後部1名）しながら、途中の風景を説明して頂きながら2時間位の行程を進む旅。

今回の乗船者は24名。運賃は4,100円。非常に重労働の船頭さんを考えれば、4100円は安いような気がした。ガイドからのお話によると、船は40艘位あるとのこと。電車を使用して、嵯峨嵐山駅から亀岡駅まで1日1回から3回移動しているとのこと。嵐山嵯峨駅で駅員がご説明して意味がやっと分かった。「船頭さんが先程電車に乗っていたので、今日は、保津川下りはあると思います」とのコメントが。



保津狭駅 鉄橋 船の売店(日差しが強くなり船にテントをかける)



渡月橋界限の遊覧船 下船

船からは陸地からは見えない様々な風景が広がっていた。岩や木々、トロッコ列車、5つ鉄橋、保津峡駅、ゴムボート、鶯や鹿などなど。一方、船の売店があるのには驚いた。暫く並走して川下りとなる。保津川が蛇行しているため、どちらの岸が嵯峨嵐山方面で、どちらの岸が亀岡方面か分からずのまま終わった。誠に残念。



懇親会

川下りの後は、花のいえに16時前に到着し、懇親会前の飲み会を開く。それ故、本番の18時前には出来上がっていた。しばらく懇談の後、リレー式で各自近況報告となる。お馴染み孫や病気の話の他、趣味の話もあった。懇親会の後も5名の宿泊者と2次会が23時過ぎまで続く。楽しい楽しい同窓会であった。なお、2年後の2021年7月のイベントは”太秦映画村散策”と決まった。次回も元気で再会しましょう。



朝の花のいえ





JR 嵯峨嵐山駅、トロッコ嵯峨駅、JR 保津峡駅

### 第3節 2日目：6月30日（日）：園部～胡麻 雨/曇り

京都の旅の2日目（6月30日（日））は、足下が悪い天気予報の中、北陸本線の踏破の続き（園部～胡麻：営業キロ12.9km）に挑戦する。数年前、京都から園部までの区間（34.2km）は踏破済であるため、このような歩きとなった。最近のゲリラ豪雨も考慮し、足下が悪いが、歩けるところまで行こうの想定の下、決行。



園部駅

各駅舎の到達時刻は次の通り。

園部（10時16分）～船岡（11時47分）～日吉（13時25分）～鍼灸大学前（しんきゅう：14時18分）～胡麻（15時12分）



船岡駅

同窓との懇談に力点を置いたため、朝時刻表を見ずに嵯峨嵐山駅に向かった。駅で30分位の待ち合わせとなる。車窓から数年前踏破した懐かしくもあり苦勞した道筋を堪能しながら園部駅に向かう。特に、保津峡駅は印象深い。この駅は、鉄道に沿った路がないため、馬堀駅から嵯峨嵐山駅までの歩きの際、保津峡駅パスを余儀なくされた。それが、昨日の保津川下りと本日の乗車で踏破できない駅であると改めて確認できた。ただし、危険を承知で山間と谷間を数十キロ迂回また迂回すれば可能かも知れないが。昨日の船頭さんの解説の通り、JR線路やトロッコ線路に沿って、保津川が複雑な流れで5つ鉄橋として交差していること（うち一つはトロッコ列車）を確認した。



殿田トンネル前

日吉駅



日吉駅で小休憩

10時16分園部駅に到着。歩き当初は小雨であったが、船岡駅界隈で本格的な雨マークとなる。そんな悪天候の11時半頃、船岡の交差点を見て、直進すべきか右折すべきか右往左往する。運よく民家の方にお会いすることができ、右折してガードレールを潜った先にあると教えて頂く。船岡交差点からは船岡駅は山の陰で見えなかったが、少し歩くと駅舎がトンネル出口先にあるのを確認。この住人の方がいなければ、雨で集中力が散漫していることもあり、船岡駅は未踏破となっていただろう。天や神そして地元の方に感謝また感謝。



鍼灸大学前

この駅で一時はアップも考えた。しかし、次の日吉駅まで歩いてアップするか否かの決断を先送りする。ここでも私の”こだわり鉄道つたい歩き九カ条”一つである「必殺仕置き人の心境」が働く。山間を大きく迂回し、殿田トンネルに到着。進むべき方向が不安で困っていたところ、運よく信号で止まっているドライバーの方のお世話になり、日吉駅をクリアできる。日吉駅に繋がる殿田トンネルを抜けると雨が止み薄日がさして

くる。日吉駅の構内にある休憩場で水分補強する。日吉駅から鍼灸大学前駅（しんきゅう）そして胡麻駅までは、線路に沿った平坦な道筋が続く。のんびり歩いた関係で数分前の電車に乗り遅れ、1時間近いロスタイムとなる。



胡麻駅

でも、胡麻駅で打ち止めは大成功。事前にインターネットでも勉強したが、車窓からも胡麻駅から下山駅は山間が続き、大きく迂回の道筋となっていたからだ。同様な道筋が綾部まで続いていた。綾部から福知山までは概ね線路に沿った路筋であった。それ故、北陸本線の胡麻から綾部までの41.4kmの歩きに際しては、推敲に推敲を重ねたプラン（どこで区切り、始点と終点をどの駅にするか）が必要と痛感。次回の歩きがプラン創りを含め楽しみとなって来た。

この日の記録は次の通り。朝7時、7時半朝食を摂り、9時まで懇談の後解散。嵯峨嵐山駅には9時15分到着。この駅に面してトロッコ嵯峨駅があった。ガイドによると、嵯峨野トロッコ列車にはトロッコ嵯峨駅、トロッコ嵐山駅、トロッコ保津峡駅、トロッコ亀岡駅があった。9時49分発の園部行きで園部駅まで移動する。10時22分、園部駅を下車すると、小雨であった。何とか行けるとこまで歩こうと決断。恐らく天や神のご加護を得て歩けるだろうと。10時27分。京都府園部総合庁舎前を通過。10時31分、園部踏切を越え、鉄道の左側となる。万歩計で312歩ある園部大橋（園部川）を渡り、鉄道を右手にして歩く。10時58分、京都縦貫自動車道を潜る。丁度、下り特急が通過して行く。11時7分、陣田川を渡る。少し雨足が強くなる。11時9分、道の駅京都新光悦村前を通過。11時32分、船岡の交差点で直進すべきか、右折すべきか右往左往する。偶然にも民家の前で年配の方を見つけたので、「船岡駅はどちらですか」とお伺いする。「ガードレールを潜った先にあります」の回答を得る。しかし、その船岡駅が

見つからずここでも右往左往する。よく見ると、500m先の鉄道を抜けた先に船岡駅が見える。安堵また安堵。船岡駅は階段を数段あがった先（11時47分）にあった。

11時59分、再度船岡交差点に戻る。12時1分、320歩ある船田トンネル前に到達。12時7分、JR下を潜り、鉄道の右側となる。暫く山道を迂回しながら歩く。12時51分、90歩ある日吉大橋（桂川）を渡る。再度、13時5分桂川を渡る。400歩ある殿田トンネル前で、進路の方向性を確認するため、信号前に停車中のドライバーに聞く。やはりJR古座駅方面の矢印がある通り、このトンネルを通過すべきと確認を得る。トンネルを通過すると殿田橋があり。13時15分から薄日となる。傘を閉じ、ステッキ代わりにする。鉄道を左手、桂川を右手にして歩く。13時20分、丹波まで26kmの看板があった。京阪京都交通のバス停先に、日吉駅（13時25分）があった。駅構内の案内所に入り、10分位小休止する。ここの駅のダイヤ朝夕の時間を除き、上り・下りとも1時間に1本の頻度のダイヤであった。駅前には日吉郵便局があった。13時48分、今歩いている道路は、府道50号（京都日吉美山線）南丹市日吉町保野田とあった。14時3分、下り特急電車が通過して行く。14時18分、鍼灸大学前駅に到着。胡麻川（希望橋）が駅舎に面して流れていた。駅前には電車の車両が展示されていた。14時27分、日吉町生涯学習センター前を通過。「遊 YOU ひよし」の看板が印象に残る。14時33分、南丹市営バス（はぎの里）前を通過。14時46分、ユースランドバス停前を通過。14時53分、日吉神社の看板前を通過。左手に鉄道が続く。15時12分、胡麻駅に到着。残念ながら数分前に電車が発車したばかりであった。それ故。次の16時10分までこの駅で、柿の種とピーナツを口にしながら一服する。駅に描かれた電車の案内板の解釈が分かりにくく、右往左往する。15時45分発の上りの電車で自分の解釈が正しい察知。先ず、1番ホームにも2番と表示してあったし、電車の時間帯によって、1番から3番まで変動した。解釈を誤ると、階段を上下する移動が伴うので、ミスは許されない。聞くにも誰も乗客の姿がなかったゆえ。



福知山駅

16時6分の電車で、初めて訪れる福知山が脳裏に入りワクワクする。途中、下山駅で特急の通過待ちと和知駅で上り電車との離合のための待ち合わせがあった。胡麻駅から綾部駅までは山間が続き鉄道に沿った路筋は見えなかった。綾部から福知山まで平野部分を線路が続き、鉄道に沿った路筋があった。福知山駅には17時3分到着。福知山駅を種々のアングルから撮影。17時20分、福知山アークホテル（601号室）に到着。ホテル内の和楽で夕食を摂る。本日の営業キロは12.9km、万歩計は25,171歩であった。雨の中であったが、自分が想定した行程をクリアでき充実した一日を送ることができる。

ホテルには17時20分到着し、ホテルの1階にある”和楽”で、地酒を頂きながら、本日の疲れを癒し、英気を養う。



和楽で祝杯（地酒”綾小町”）